

平成29年3月

水産研究・教育機構の職員採用について  
(研究開発職、技術職、一般職)

国立研究開発法人 水産研究・教育機構

I. 機構組織について

国立研究開発法人水産研究・教育機構は、水産物の安定的な供給と水産業の健全な発展に貢献するために、水産分野における研究開発と人材育成を推進する、我が国唯一の水産に関する総合的な研究開発・教育機関です。

当機構で働く職員は、研究開発を進めるための研究開発職、それらを支える一般職、技術職、船舶職、さらには水産業を担う人材の育成を図る教育職、と幅広く、各分野での経験や資格を生かした活躍が可能です。現在、9つの研究所、開発調査センター、水産大学校、それに付属する各庁舎やさけます事業所が全国に配置されています。

II. 各職種の業務内容及び求める人材について

○研究開発職

当機構の研究開発職は、各研究所等において研究・開発・調査を進めるとともに、機構本部や各研究所等の企画・管理部門において、研究開発の企画・立案、地域や産学官との連携、広報等に携わるなど、経験や意欲、適正に応じた幅広い活躍の場があります。

採用後は、例えば、生物学や生態学、数理統計学等を基礎に、水産資源評価や漁海況予測などの実務を通じて、水産資源の持続的利用技術の開発や効率的な漁業生産技術の開発を進めることや、当機構の持つ水産生物の飼育・培養技術を継承・発展させ、新しい種苗生産技術の開発や効率の高い養殖技術の開発を行うなど、産業研究機関としての当機構の研究開発に関する基幹的業務を担う人材となるよう育成を図ります。

このため、水産に関する科学・技術の各分野（水産資源、水産海洋、水産増養殖、水産工学、水産利用・加工、水産経済等）の研究開発を担う人材として、それまでの経験分野に限らず他の分野へも積極的にチャレンジする意欲的な人材を求めています。

○技術職

技術職は、①わが国のさけます資源を維持するためのふ化・放流技術の開

発並びにふ化・放流の実施、②様々な魚種を対象とした種苗生産や育成技術の開発、人工種苗の放流技術の開発並びに種苗生産、育成、放流の実務を担っています。

採用後は、北海道区水産研究所のさけます事業所や、各研究所にて勤務し、ふ化・放流・種苗生産技術等を習得するとともに、わが国のさけます資源を維持するためのふ化・放流事業、各魚種の種苗生産・育成・放流等の実務に携わることになります。その後は、技術者としてより一層の技術の高みを目指す一方、本人の経験や特性に応じて、機構本部での活躍の機会を設け、組織人としての総合的な人材育成を行っていきます。

地域の漁業関係者との交流の機会も多く、円滑なコミュニケーションができ、大学等での専攻にかかわらず、魚類の飼育管理に関心と意欲を持っている人材を求めています。

#### ○一般職

一般職は、機構本部、各研究所及び水産大学校等で研究開発や教育を支援する業務を担当しています。

一般職には、経理、庶務、契約業務を軸に、知財管理、広報、情報セキュリティ、経営企画、人事、労務対策、水産大学校における学生の支援等、幅広い職域があります。

採用後は、最初の任地において経理、管理など2つ程度のポストでの実務経験を積んだ後、機構本部を含む全国の研究所及び水産大学校の間での異動を通じて、様々な環境やポストでの研鑽や活躍の機会を設け、組織人としての総合的な人材育成を行っていきます。

上記の様な多種多様の業務の中、さまざまなポストにおいて、周囲との円滑なコミュニケーションを図り、意欲的に業務に取り組むことが出来る人材を求めています。

### Ⅲ. 平成30年度採用予定について

#### ○平成30年度採用予定数

・研究開発職（試験採用）	採用予定数	10名程度
・技術職（試験採用）	採用予定数	若干名程度
・一般職（試験採用）	採用予定数	10名程度

※任期付研究員・研究開発職(選考採用)・船舶職については、募集人数・選考日程等は未定です。

決まり次第当機構採用HP等にてお知らせいたします。

#### 【問い合わせ先】

国立研究開発法人水産研究・教育機構 経営企画部 人事課  
電話：045-277-0141 メール：fra-jinji@fra.affrc.go.jp